

熊野神社周辺に於ける文化財と文化財を結ぶ古道の再生

◆事業の目的・背景

区内には町指定重要文化財として指定されている「熊野神社本殿の彫刻」と「行屋」の2カ所があるが、そこに通じる古道の荒廃等により、その存在が忘れ去られようとしている。建物を管理している東講社と熊野神社の神事等を手伝っている若者を中心としたボランティア熊建て会を中心に互いに協力し合い、祖先から伝わる歴史、文化、伝統を区民による作業を通じ、区民全体が共有する遺産として再生事業に取り組む。



◆チャレンジ事業支援金の活用実績

| 活用年度 | 事業内容 | 支援金額 |
|-------|--|------------|
| 平成30年 | ・町道熊野神社参道線横の道路拡張事業の実施 ・参道入り口から幅5メートル長さ25メートルの道の整備 ・参道中腹に駐車場の設置 | 700,000円 |
| 令和元年 | ・参道途中に水洗トイレ・水道の設置 ・文化財行屋周辺の駐車場整備 ・地下水対策と排水溝の整備 | 1,000,000円 |
| 令和2年 | ・町道熊野神社参道線横の道路拡張事業の実施 ・文化財行屋周辺の駐車場整備 ・排水溝敷設工事の実施 | 1,000,000円 |

◆事業成果

- ・トイレの設置は女性の方々に安心感を与えることができた。
- ・15台収容の駐車場拡張整備により、広く駐車場を利用できるようになった。
- ・事業開始から3年目を迎え、駐車場利用者が増えており、認知されていることを実感した。

◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・文化財に指定されたことの意義を理解し、幾百年に伝わる歴史を継承していきたい。
- ・区が新たに土地を確保、駐車場の整備等行い自らの財産、歴史を有効に活かし地域の宝を区民の皆様にも共有提供できる働きかけを推進していきたい。